

様式 1

研 修 (研 究) 報 告 書

令和3年3月31日

玉名市議会
議 長

様

氏 名 坂本 公司



下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参 加 議 員	西川 裕文 作本 幸男 中尾 嘉男 近松 恵美子 古奥 俊男 坂本 公司		
日 時	平成3年1月12日（火） 午前10時00分 ～ 午後 ² 時00分		
場 所	玉名市役所4階 第1委員会室	参加者数	40人
研修(研究)事項	発達障害の子ども達の改善		
概要及び所見	別紙のとおり		

研修報告

テーマ 「輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち」

日時 令和3年1月12日 午前10時～12時

場所 玉名市役所 4階会議室

講師 前島真由美先生（ゆめの森園長）

主催 玉名市議会 新生クラブ一同

参加者 執行部関係者、保育士、保護者、農業者など

研修会開催の趣旨

坂
本
公
司
40名

近年、発達障害と呼ばれる子どもたちが急増している。原因を追究し増加を食い止めるために経験豊富な前島先生を招き効果的な対策を考えていくこととした。

内容

世界的にミツバチが減っているというDVDを拝見する。ミツバチは植物にとって大切な存在であるがその大量死が問題になっている。全世界のミツバチが絶滅すれば4年後には人類が絶滅すると言われている。それを食い止めるためには環境保全型の農業をすすめていく必要がありさらには学校給食をオーガニックにすることで消費を支え子どもの健康を守ることが出来るというものである。

その他、発達障害の症状についてもお話がありました。その子どもたちを添加物や農薬などのない食生活に変えることで落ち着きを取り戻した。また薬を投与されていた子どもたちも食生活を変えることによって薬いらずとなった。このことから発達障害に限らず子どもたちの食生活を変えることで子どもたちの未来を変えることが出来ると説明があった。

私も放課後等デイサービスを運営する中で試行錯誤しながらより良い療育をすすめていきたいと思いましたが。

新生クラブ 坂本公司

C

～講演会～

子どもが変わる 未来が輝く！

輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち

日時 令和3年1月12日（火）午前10時から12時

場所 玉名市役所4階

講師 前島由美先生（ゆめの森子ども園）

前島由美先生のプロフィール

25年間保育士として保育園に勤務。その時に、オーガニックな保育園の給食でアレルギー症状が改善していくのを感じ。2011年保育士の仕事から療育支援へ移行。急増する発達障害児の原因を探る中、脳内アレルギーと脳の栄養障害という言葉を目にし、「食べなきゃ危険」との出会いで著者の国光美佳氏とともに食の見直し（ミネラル補給）による改善に取り組む。

2013年、出雲大社の神気に包まれる地に、天然自然素材の古民家風日本家屋を新築。衣食住の営体験を療育に取り入れるべく古民家ゆめの森子ども園を開園。

ミネラル豊富なおやつや食事を子どもたちに提供しながら、鶏、みつばち、ヤギ、ウサギ、犬、猫の飼育、自然栽培によるお米や野菜づくり、カマドでごはんを炊く等昔の生活体験や安心できる居場所づくりで現在小1～高校生まで30数名の発達障害と呼ばれる子どもたちを改善に導いている。

2019年、11月に保護者、学校長、スタッフなどの寄稿とともに、「輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち」を出版。

主催 玉名市議会 新生クラブ

玉名市においても急増している発達障害と言われる子どもたちに対して、何か改善の方法はないものか、と考えていたところ、前島先生の著書に出会いました。今回、現場の方々や学び意見交換するなかで、このことについて市が積極的に取り組むように我々も効果的な施策を打ち出していきたいと考えております。



ゆめの森子ども園
愛の関わりと連携の実例集

輝きを取り戻す

“発達障がい”と呼ばれる
子どもたち



感覚過敏からくる問題行動や不登校――

苦しい状況に置かれた子どもたちを救う、

ゆめの森子ども園の取り組みを紹介！

そこには愛の関わりと食療指導、学校・家庭・医療者の連携がありました。

発達障害とゆめの森の連携で実践した療育実践

ゆめの森子ども園の療育で取り返る遅れ実例

本書者によって書かれる質問・相談への具体的な回答

ゆめの森子ども園代表
前島由美 著

